

政策提言 委員会

関西電力の発電所を視察 ～新たな産業構築の提言に向け～

政策提言委員会（委員長：植本浩明上杉教育機器㈱代表取締役社長）は、関西電力㈱の協力を得て、6月13日に同社の高浜発電所と美浜発電所を視察しました。高浜発電所では安全対策工事について、美浜発電所では廃炉工事についてそれぞれ説明を受け、エネルギー産業に関する理解を深めました。

今回の視察は、政策提言委員会が100年先の舞鶴の輝く未来を見据え、長年培ってきた「産業の集積」と「ものづくりの技術」を活かせるエネルギー関連事業など新しい産業の構築に向けた提言をまとめるにあたり実施し

たものです。4月から複数回にわたり議論を深めてきました。

なお、当日は、小西会頭と今安・朝比奈両副会頭、嵯峨根総務委員長のほか政策提言委員の4人が参加しました。



高浜発電所取水口の防潮ゲートの説明を受ける



美浜発電所の概要説明

食料品・水産部会 海上自衛隊と役員との 懇談会を開催

食料品・水産部会（部会長：田中信男 舞鶴水産流通（協）顧問）では、行政への要望事項に「地元産品」の利用促進を挙げています。そこで、6月14日に部会事業として、海上自衛隊で食材等の入札に関する規格を立案されている舞鶴造修補給所計画調整部・需品管制科長の柴野元棋氏を招き、舞鶴商工会議所で懇談会を開催しました。

当日は、はじめに参加者から業況を報告し、情報を共有した後、柴野氏から入札制度の概要について説明を受けました。地産地消については前向きに検討されているとお聞きしましたが、食料品は一品目におい

て一回当たりの納品量が多いこと、また、魚はある程度加工されたものでないといけないなど課題も話されました。

参加者は、地元産品の利用促進に関して、海上自衛隊の意向を知る良い機会になりました。

なお、今後も食料品・水産部会は、地元産品の利用などに関わる部会活動を実施していきます。



地元産品の利用について柴野需品管制科長と懇談